



## リリースノート

本ドライブシステムリリースパックの新しい点は次のとおりです。

## LA Network Manager 2.7

---

### 全般

- セッションファイルの形式を\*.nwmに変更しました。
- セッションファイル内に保存されていない変更が存在する場合に星印(\*)を表示します。
- P1用のショーモード時確認メッセージを追加しました。

### セットアップページ

- Soundvision (バージョン 3.1 以上) で保存したプロジェクトファイル (\*.xmlp) を読み込み、Soundvision シミュレーションにマッチしたセッションファイルを自動生成します。詳細はヘルプファイルを参照してください。
- インポートした Soundvision プロジェクトのゾーニンググループになんらかの変更 (Autofilter パラメーターまたは ARCSUB ディレイ) を施した場合、セッションのゾーニンググループを同期させることができます。

### チューニングページ

- Soundvision からインポートしたすべてのグループに対して Air Compensation のゲインをまとめて自動調整する Autoclimate 機能を搭載しました。詳細はヘルプファイルを参照してください。
- プロセッサのコントロールパネル (入力/出カタブ) : 各フェーダーを 8 つのギャングに割り当てることができます。ギャングに対するゲインとミュートの変更はギャング内のすべてに適用されます。詳細はヘルプファイルを参照してください。
- プロセッサのコントロールパネル (マトリクスタブ) : Cue バスに最大 2000 ms のディレイを設定できます。
- P1 AES と AVB フォールバックステータス : ユニットビュースライダーが **Input** に位置する場合、オブジェクトにステータスをカラーコードで表示します。

### ライブページ

- P1 AES と AVB フォールバックステータス : ユニットビュースライダーが **Input** に位置する場合、オブジェクトにステータスをカラーコードで表示します。
- ユニットビュースライダーが Unit Temperature に位置する場合、P1 のプローブによる内部/外部の温度/湿度を表示します。

## ドライブシステム ファームウェア 2.9.8

---

- アンプリファイドコントローラーと P1 の IP 設定管理を更新 : 複数会場の一元管理を目的としてサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを追加しました。
- 固定設備運用に向けて QSC Q-SYS コントロールから構成のストア/リコールを可能にしました。

詳細はダウンロードパッケージに含まれる **LA4**、**LA4X**、**LA8**、**LA12X**、**P1** のユーザーマニュアルを参照してください。

## 修正した問題

---

### LA NETWORK MANAGER

#### セットアップページ

L2-3463	KIVA II チェック時に予期せぬセットアップチェック不良が発生する。
L2-3472	カレントセッションファイルに対して異なるセッションファイルをロードすることで複数のユニットの AVB ストリームを変更すると失敗することがある。先に LA Network Manager を閉じることをおすすめします。新しい AVB ストリーム選択を完全に適用するには、LA NETWORK MANAGER のオフライン/オンラインを数回繰り返す必要がある。
L2-3516	チャンネルセットとグループの関連付けがアサイン後に誤った状態になると競合のために拒否される。
L2-3566	AVB: RME Digiface AVB と P1 または LA4X リスナーをコネクタまたはディスコネクタすると時々フェイルする。
L2-3590	AVB: トーカーが存在しなくなった場合、電源を入れ直してもリスナーの設定を変更できない。

#### チューニングページ

L2-2829	P1: Cue バスのディレイが LA NWM から設定できず、P1 フロントパネルのみからとなる。
L2-3378	IIR EQ フィルターが 2 グループに管理されているように誤ってレポートされる。

#### ライブページ

L2-3505	P1: USB プローブからの温度湿度情報が LA Network Manager にレポートされない。
---------	--

#### ファームウェア

F1F-1510	LA4X と LA12X において、AVB チャンネルが A にマップされていない場合に 48kHz の AVB を受信すると、B、C、D を使用した出力が -6 dB される。
----------	---

## 既知の問題と制限事項

### LA Network Manager

#### 全般

L2-850	Windows XP または 7 のリモートデスクトップを使用時に、その接続が切れると NWM と全てのユニット間の接続が切断されます。回避策：Windows 8 または 8.1 を用いるか、VNC・TightVNC・Team Viewer などのアプリケーションを用いてください。
L2-1385	L-NET ネットワーク上に同一のサブネットに設定した NIC を複数接続しないでください。
L2-2356	LA NWM が動作している Windows 10 PC にてオーディオプレーヤーの音が途切れるケースがあります。アンプの IP アドレスを連続させ、オプションからスキャン IP レンジを限定すると状況が改善されます。
L2-2366	P1：LA Network Manager からのコンフィグレーションファイルマネージメントは機能しません。コンフィグレーションファイルは P1 フロントパネルからのみマネージメントできます。
L2-2490	P1：セッティングプロテクションは機能しません。
L2-2559	Windows：特定のポートで USB ネットワークインターフェイスカードを初めて使用する場合、LA NWM の AVDECC 1722.1 コントローラーが動作を開始できるように、USB ネットワークインターフェイスカードを接続した状態で PC を再起動する必要があります。
L2-3284	P1：メディアプレーヤーのリモートコントロールは機能しません。メディアプレーヤーは P1 のフロントパネルからのみ操作できます。
L2-3286	P1：プロセッサユニットのリミッター動作状況は表示されません。(ライブページの L-DRIVE Gain Reduction を除く)
L2-3487	LA NWM 2.7 によって作成されたセッションは LA NWM 2.6 との互換性がないが、そのようには表示されずにセッション名が表示されてしまう。LA NWM 2.6 へのエクスポートは Recommendations > Compatibility > Sessions (5 ページ) を参照してください。

#### セットアップページ

L2-234	ユニットマッチャー上で複数のバーチャルユニットの IP アドレスをまとめて変更する場合、移動元と移動先のセルが重複していると移動できません。
L2-1644	スタンバイユニットは PIN プロテクションを表示しません。
L2-1886	L-NET プライベートネットワーククラスがクラス C でない場合、ファームウェア更新プログレスバーが 95% で停止します。ファームウェアの更新は有効なので、[キャンセル] をクリックして終了してください。
L2-1918	ファクトリープリセットが選ばれているユニットをファームウェアアップデート：好ましいユーザープリセットメモリーへの振り分けが考慮されません。
L2-2057	ユニットマッチャーからの IP アドレス変更が正常に適用されないケースがあります。
L2-3107	ファームウェアアップロード終了時に P1 が "disconnected" の赤色ステータスになります。(ファームウェアアップロードには影響を与えません。)
L2-3485	最新バージョンの Windows 10 で動作する Microsoft Surface Pro 4 では、特定のダイアログボックスでタブレットペンによるクリックが機能しません。

#### チューニングページ

L2-2486	P1：グループパラメーターのコピー/ペーストができません。
L2-2527	P1：ユニットパラメーターのコピー/ペーストができません。
L2-2898	P1：コンパクトビュー時に P1 バーチャルユニットのコンターEQ・グループゲイン・グループディレイは表示がリフレッシュされません。
L2-3260	P1：コントロールパネルの Bus タブにあるディレイ単位は常に ms です。
L2-3285	P1：P1 のグループには Polarity コントロールがありません。

## ファームウェア

	LA4X はファームウェアアップデート中に接続されているスピーカーから低レベルのクリック音が発生します。
F1F-110	高いレベルの信号を入力すると、信号の入力を止めても SIGNAL LED が点灯しつづけるケースがある。
F1F-1235	P1 : セッティングプロテクションは機能しません。

## 推奨事項

### ネットワークセットアップ

- Ethernet デイジーチェーン接続を用いる場合、LA4X/LA12X の下流に LA4/LA8 を接続してください。
- AVB ドメインの構築には AVB ブリッジのみを使用します。
- LA NWM のネットワークに接続するコンピューターは **1 台のみ**とします。(複数のコンピューターを同時接続しないでください。)
- LA NWM が動作するコンピューターとユニット間是有線接続してください。WiFi 接続よりも安定して動作します。
- LA NWM から AVB をコントロールする場合は必ず有線接続してください。
- より優れたパフォーマンスのために：1 Gb/s のイーサネットを用い、アンプリファイドコントローラーの IP アドレスを連続させてください。(LA NWM の IP スキャンレンジを狭くします。)
- 1 台のコンピューターから WiFi と有線を同時に LA NWM のネットワークに接続するとユニット検出に障害が発生する可能性があります。Windows のコントロールパネルにある「ネットワークと共有センター」から、どちらかを無効化してください。
- Windows 8 未満に搭載されているウィンドウズ リモートデスクトップ機能は使用しないでください。Windows 8 未満でリモートを行う場合には、VNC、TightVNC、Team Viewer などのアプリケーションをお使いください。
- L-acoustics ユニットのモニタリングやコントロールは専用ネットワークを用いてください。他のデバイスとネットワークを共有する場合、コミュニケーション コンフリクトを避けるために、L-acoustics ユニットの割り当てた IP アドレスとは異なるアドレスを他のデバイスに割り当ててください。

### 互換性

#### ファームウェアバージョン

- 全てのユニットが同じファームウェアバージョンで動作していることを確認してください。
- 最低でもファームウェアバージョン 2.9.8.3 で動作させてください。
- LA NWM バージョン 2.5.1 以降は、ファームウェアバージョン 1.x で動作する LA4 / LA8 ユニットの検出しなくなりました。ファームウェアバージョン 1.x で動作する LA4 / LA8 ユニットをアップデートするには NWM 2.4.4 を使用します。ダウンロードしたパッケージに同梱されている **LA NWM Installation technical bulletin** を参照してください。

#### カスタムプリセット

- 本バージョンで作成したカスタムプリセットは、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作成したカスタムプリセットはプリセットバージョン 3.x 以上で必ず作りなおしてください。

#### セッション

- LA NWM 1 で作られた .system ファイルは、このバージョンの LA NWM では開けません。新しくセッションファイルを作り直してください。
- LA NWM 2 で作られた.lses または.nwsys ファイルは LA NWM 2.4 で開けます。これらのファイルに 1.x または 2.x のプリセットが含まれている場合、当該プリセットをバージョン 3.x またはそれ以上に必ず置き換えてください。
- 本バージョンで作ったセッションファイル (.lses) は、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。

セッションを\*.lses ファイルで保存する (LA NWM 2.6 互換) :

1. LA NWM 2.7を終了する。
2. Windows エクスプローラーを開き%AppData%を入力する(Windows の場合)、または Finder を開き ~/Library を入力する(macOS)。
3. **L-ACOUSTICS > LA Network Manager 2** (Windows) または **Application Support > L-Acoustics > LA Network Manager 2** (macOS) に行く。
4. **nwmconfig.xml** を開き</PROPERTIES>の前に<VALUE name="nwm\_showExport" val="1"/>をインサートし保存する。
5. LA NWM 2.7 を開き、セッションメニューから **Export to NWM 2.6** を使う。

## プリセット



互換性に関する問題は、古いプリセットを使っているユニットが含まれたセッションファイルを利用する際に発生します。当該ユニットのプリセットを LA NWM に搭載されているプリセットライブラリーで置き換え、セッションファイルを更新してください。

詳細は **LA NWM Optimization** 技術解説書を参照してください。

- LA12X にはバージョン 5.4 以上のプリセットを用いてください。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作られたプリセットは、本バージョンの LA NWM を用いてプリセットバージョン 3.x 以上に**必ず**置き換えてください。
- プリセットライブラリーのバージョンが 4.x 以降の[K1][KARADOWNK1][K2\_xx]プリセットは、プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の[K1][KARADOWNK1]プリセットとの互換性はありません。
- LA8 用プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の KARA、ARCS II、KUDO プリセットは、LA4X に対する互換性はありません。

詳細はダウンロードパッケージに含まれている**プリセットガイド**を参照してください。

詳細はダウンロードパッケージに含まれている **LA NWM and firmware compatibility issues** 技術解説書を参照してください。

## セッションファイルをロード中にユニットとの接続が切れた場合

セッションファイルのロード中にユニットとの接続が切れたことが**メッセージセンター**に示された場合、セッションファイをもう一度ロードしてください。

## ユニコード以外の文字

セッションファイル名はユニコード文字を用いてください。(日本語は用いないでください。)